

事業実績書

事業名	いのちの誕生を地域で祝う「Birth Gift」事業	
場所	沼津市内	
期間	2025年6月1日 ~ 2026年3月30日	
	日程	実施項目・作業項目
内業		※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)

【実施内容】

沼津市に誕生した命を地域で祝い、地域で支え、育てていく事業。
行政および地域の企業、団体、個人が連携して、それぞれの「子育て応援のカタチ」を1冊の冊子『Birth Gift』にまとめ、赤ちゃんが誕生した家庭にギフトとして配布。

沼津市保健センターの協力を得て、初回に作成した冊子（2024年度事業で作成）を2025年度中、新生児訪問の際に対象家庭へ配布した。

今年度は、冊子の作成に加え、母子の孤独を防止するために、リアルに人と繋がれる場として「赤ちゃん和妈妈の居場所事業」を追加。事業で企画した3つの事業（はじめのいっぽ・親子運動あそび・親子リトミック）への「招待状」を作成。『Birth Gift』と同時配布を行い、赤ちゃん和妈妈の最初の居場所となるよう努めた。

【実施スケジュール】

R7.6

「招待状」にかかる居場所事業の企画
「招待状」の作成・『Birth Gift』との同時配布開始

R7.6～R8.3

「招待状」にかかる居場所事業の運営実施
◎はじめのいっぽ（ベビママサロン）：全10回
毎日の抱っこやおんぶが楽になるコツなどの個別アドバイスの実施
赤ちゃんをかわいく撮影する「ごろんアート」の実施
ママ友づくりの一助になる赤ちゃん和妈妈の交流会の実施
◎親子運動あそび：全5回
全身を使って楽しく体を動かし、運動能力の土台を育てる運動教室の実施
◎親子リトミック：全5回
リズムに合わせて親子で触れ合いながら、心と体を元気にする音楽教室の実施

R7.7～R8.2 上旬

子育て応援金融機関、企業、団体、個人への効果測定（ヒアリング）

R7.7～R8.3 上旬

新規子育て応援企業、団体、個人のリストアップ・交渉回り
子育て応援企業、団体、個人ページ作成（再掲載含）
それぞれの「子育て応援のカタチ（Gift）」をヒアリング

R8.2～R8.3 上旬

子育て応援企業、団体、個人交渉回り

R8.3

冊子デザイン
冊子掲載内容確認作業
冊子入稿・完成
沼津市保健センター新生児訪問にて配布
【実施場所】沼津市内
【参加対象】赤ちゃんが誕生した世帯
【配布方法】沼津市保健センター協力のもと、赤ちゃんが生まれた家庭への新生児訪問の際に配布
協賛企業で生まれた沼津市以外の赤ちゃんにも配布
【人員配置】デザイン担当1名・
全体総括および交渉担当1名・事務局2名

<p>事業効果</p>	<p>※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。</p> <p>『Birth Gift』が、地域の子育て応援の輪となり、冊子を手にした親子が、3歳のお誕生日を迎えるまでに企業、団体、個人が提供する『Gift』を受け取りながら、子育てを応援するまちの人と出会い、まちを楽しむ機会を得ることで、地域愛を育み、沼津市が掲げる「誰もが安心して子どもを産み育てることができるまち・沼津」の実現の一助となることができると考える。全国的にもこのような市と民間を連携させた子育て支援事業事例がないため、先進的な取り組みとして、今後も話題性のある事業に成長、定着させていけると考える。</p> <p>「赤ちゃん和妈妈の居場所事業」については、『Birth Gift』に同封された招待状によって、新たに子が生まれた家庭同士が交流するきっかけ（ママ友作り等）を作ることができ、核家族化による親子の孤独を防止する効果があったと考える。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆招待状による赤ちゃん和妈妈の居場所参加人数：715人 ◆特別協賛：静岡中央銀行（銀行100周年に伴うもの） ◆冊子掲載連携 <p>企業：協賛19件（前年17件）</p> <p>団体および個人：協賛40件（前年30件）</p>
<p>自己評価</p>	<p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p>『Birth Gift』の最大の魅力は、生まれてきた命を応援したい人で構成された優しい想いが詰まった冊子だということであり、どの人に会いに行っても「行ってよかった」と思える信頼できる人たちがGiftを提供してくれている。また、この1冊を見れば、助産院、子育て支援団体等が掲載されており、子育ての選択肢を得ることができ、産後すぐからの切れ目ない支援に繋がる。</p> <p>『Birth Gift』事業2年目も、引き続き企業、団体、個人からの温かいご支援をいただき、掲載件数+5件を目標としていたが、上回る+12件の方々から協力いただくことができた。</p> <p>本事業は、未来への投資、よりよい街をともに作っていくための取り組みとして、生まれてくる命を応援したいという同じ気持ちで成り立っているため、ポジティブに進みやすく、共感や協力を得ることが継続的にできていく事業であることが分かった。</p> <p>一方、『Birth Gift』に掲載しているGiftの受け取り状況は、配布数に対して現時点での利用はまだ多くない。Giftの有効期限を3歳の誕生日としていることから、Birth Gift掲載による効果については、子どもの成長に伴って今後利用につながっていく可能性が高いと考えられる。今後も試行錯誤を重ねながら、状況を見ていきたい。「招待状」事業は、700人を超える親子の参加があり、居場所事業としての可能性が見えているが、補助金がなくなったあとの継続性については、支援事業として進める限り課題が残る。今後はこうしたリアルな繋がりのおかげとなる居場所や、新生児世帯の社会接点創出を、どのように継続的に計画実施し、繋げるかを検討していく必要がある。</p>
<p>今後の活動予定</p>	<p>※ 補助金を利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p>

『Birth Gift』の仕組みは、ずっと課題であった子育て支援事業を継続的に支える仕組みとして定着する可能性が見えてきている。企業、団体、個人など、今までご縁のあったみなさま、そして、これからご縁を紡いでいくみなさまと、子育て支援事業の集大成としてさらに発展していけるよう計画していきたい。

アドバイザー委員のみなさまからのアドバイスにあった以下についても意識していきたい。

- ・近隣地域への広がりが期待できる
- ・自立自走化に向け、地元企業を巻き込んだ「子育て応援スポンサー制度」の構築やB to B向け広告メニューの整備を行うことで企業連携が期待できる。

本事業は、これまで取り組んできた子育て支援事業との組み合わせ、行政との連携も構築でき、公共的で意義のあるものと確信しているが、この冊子に行政サービスの掲載を産後のパパママにわかりやすい視点で掲載するなど、産後に知りたい情報が集約している冊子として成長していきたい。そして、長く継続できる事業として日々、試行錯誤を重ねながらたくさんの意見を収集して、発展していきたい。引き続き、ご支援よろしくお願いたします。